

事業番号	02 06 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	移住・交流推進事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課				
		実施期間	H15 ～	E-mail	iju @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

本県は、雑誌等の移住希望地ランキングで上位となるなど、移住人気県として評価が定着しており、長野県への移住者数も8年間で約1.9倍（H27年度：1,758人⇒R5年度：3,363人）と増加傾向にある。その強みを活かし、急速に進む人口減少の緩和策として、移住定住策の更なる推進を図る必要がある。また、ライフスタイルの多様化などの社会の変化を見据え、移住に限らず、二地域居住など多様に長野県と関わる人々を増やしていくことで、地域の活性化を図る必要がある。

2 事業目的

本県の強みや魅力をアピールし、移住人気県としてのブランド力を向上していくとともに、相談等の支援体制強化のほか、多様な関わり方の機会を提供することで、移住・二地域居住等つながり人口（関係人口）の拡大を推進し、地域の活性化や活力創出を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①移住支援体制の強化	
・地方への移住希望者と県内地域とのマッチングを推進するため、地方移住の相談拠点として機能する公益社団法人ふるさと回帰支援センターへ配置している相談員を増員	
・広域的な移住サポートを実施するため、県採用の地域おこし協力隊を配置	
・三大都市圏及び県庁でのきめ細かな相談に応じるため「信州暮らし案内人」を配置	
②信州の魅力の徹底アピール	
・民間の知見を踏まえた効果的な移住等プロモーションの革新と市町村の広報スキルアップを実施	
・市町村や民間企業と連携し、長野県の仕事と暮らしをセットで相談できる移住相談会・セミナーを開催	
・移住に関する包括サイトを運営し、長野県の仕事と暮らしを総合発信	
③つながり人口の創出拡大	
・長野県の特徴あるコンテンツを活かし「旅するように仕事をしながら暮らす」ことを体感するプログラム「信州ワーキングホリデー」を実施	
・地域にある魅力的な「ヒト・コト・モノ」を「物語（ストーリー）」として、発信することで、都市部の若者の「共感」を呼び、人と人がつながり、さらに新たな人を地域へ呼び込む仕組みづくりを実施	

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	移住相談件数	件	9,389	10,846	↗	11,066	↗	10,091以上	達成	三大都市圏及び県庁で対応した相談件数を設定。相談員を増員し、R5の相談件数に採用や慣らし期間等考慮した一人あたりの件数を上乗せし、目標値とする。 ※非対面の相談も含める集計に変更
②	移住イベント（相談会・フェア）参加者数	人	1,308	1,580	↗	2,696	↗	1,499以上	達成	魅力的なテーマの設定や、仕事と暮らしをセットで相談できる移住フェアの回数を増やし、R5の参加者数に過去の同規模移住フェアの参加者数を上乗せし、目標値とする。 ※対象イベントを拡充し、集計対象を参加者数に統一
③	イベント参加者の長野県への関心度向上割合	%	—	—	—	99	↗	80	達成	イベント開催後のアンケートにおいて、長野県への関心度の向上についての問いに対し「向上した」と回答した人の割合を80%以上とすることを目指す。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	☆移住者数	人	2023 (R5)	3,363	2024 (R6)	3,747	2025 (R7)	3,752	2027 (R9)	4,500
3-1⑥	移住・交流・多様なかかわりの展開	☆社会増減(2023～2027年度の累計)	人	2023 (R5)	1,763	2024 (R6)	4,424	2025 (R7)	5,018	2027 (R9)	2,700

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	111,902	0	111,902	89,157	109,414	7.0
R6年度	0	60,349	270	60,619	52,562	60,468	7.0
R5年度	0	53,105	0	53,105	41,896	51,737	6.4

事業番号	02 06 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	移住・交流推進事業			部局	企画振興部	課・室	地域振興課		

7 主な取組実績と成果

①移住支援体制の強化

- ・ふるさと回帰支援センター・東京に長野県の相談専用スペースを設置し、3人の相談員を配置。センターにおいて、個別相談やセミナー内での相談など、計3,661件の移住相談に対応した。
- ・三大都市圏及び県庁に「信州暮らし案内人」を4人配置（東京、名古屋、大阪、県庁）。4箇所において、同じく個別相談やセミナー内での相談など、計5,840件の移住相談に対応した。
- ・広域的に移住・関係人口創出に取り組む、信州移住コネクター（県地域おこし協力隊）を4名配置した。
- ・R7年度の移住者数が3,752人とH27年度の集計開始以来過去最高となった。各種移住相談窓口における情報発信やきめ細やかな相談を実施したことによる一定の成果が寄与している。

②信州の魅力を徹底アピール

- ・民間の知見を踏まえたプロモーションの転換を図る会議を全4回開催し、有識者、移住経験者、自治体職員のべ92名が参加した。
- ・長野県の暮らしや仕事に関する情報を一体的に発信する最大級の移住イベント「信州で暮らす働くフェア」を労働雇用課と連携して7月に東京で開催した。県内企業のブースを50設け、市町村50、関連団体25と合わせて計125ブース設置し、過去最大規模で実施したところ、来場者数がR6年度から504人増え、過去最高の782組1,235人となった。さらに今年度は新たに「キーワードで探す」をコンセプトに、信州で暮らす働くフェア・ミニを東京で2月に開催し、35ブースを設置し、215組350人が来場した。
- ・移住総合webメディア「SuuHaa」において、若者をターゲットとした記事コンテンツを14本掲載した。年間149,296件のアクセスがあり、サイトを通じた県への資料請求が134件あった。

③つながり人口の創出拡大

- ・「旅をするように仕事をしながら暮らすこと」を体験するワーキングホリデーのプログラムを県内10市町村にて開催し、全体で参加者数が40人となった。
- ・長野県にある魅力を都市部の若者が、物語（ストーリー）として発信することで「共感」を呼ぶプログラムを実施し、35名が参加し、35本の記事を作成し、発信した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	移住相談件数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
各種相談窓口でのきめ細やかな相談対応や魅力的なテーマでの移住セミナー等での情報発信に加え、ふるさと回帰支援センター・東京に配置している相談員を2名から3名に増員、さらに仕事の相談ができる就職相談員を1名新たに設置したことで、相談体制を強化し、目標の10,091件を上回る11,066件となった。							
指標 ②	移住イベント（相談会・フェア）参加者数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
恒例の「信州で暮らす働くフェア」に加え、初めて「キーワードで探す」をテーマとした「信州で暮らす働くフェア・ミニ」などを開催し、参加者数は目標を大幅に上回る2,696人となった。							
指標 ③	イベント参加者の長野県への関心度向上割合	R6年度推移	-	R7年度推移	↗	達成状況	達成
地域の魅力あるコンテンツを活かし、特色ある仕事や地域住民との交流の場を設けたことで、参加者の満足度が高く、長野県への関心が高まり、目標を達成した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・地方回帰の潮流を捉え、特に大都市圏の若い世代の地方への関心が高いことから、「若者・子育て世代」をターゲットとした取組を市町村や関係団体と連携して実施した結果、移住相談件数及び移住イベント（相談会・フェア）参加者数がR6年度より増加した。今後も、引き続き若者・子育て世代に訴求する取組を検討し実施していく必要がある。
- ・県内10市町村と連携し、「信州ワーキングホリデー」などの魅力あるプログラムを実施した結果、長野県への関心が高まった。今後は地域との関わりをさらに深めるため、継続的に地域を訪れる、訪問型関係人口の創出・拡大が必要である。

(2) 事業改善の方策

- ・移住人気県のブランド力を向上していくとともに、相談等の支援体制強化のほか、多様な関わりの機会を提供することで、移住に加え二地域居住等の関係人口拡大を推進し、地域の活性化や活力創出を図る。
- ・まだ具体的に行動していない移住漠然層を移住相談窓口につなげるため、R7年度の検討結果を踏まえてウェブサイト等を刷新し、信州で暮らす魅力を効果的に発信するとともに、信州移住コネクター（県地域おこし協力隊）による多様なテーマのセミナーを開催し、新たな層の開拓を図る。
- ・地域とのかかわりが深い関係人口の創出に向け、長期的に複数回地域を訪れて交流するプログラムを実施していく。

事業番号	02 06 03	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	移住・交流推進事業費		部局	企画振興部	課・室	地域振興課	

細事業 No.	細事業名			R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	信州暮らし案内人の配置			18,120 千円	22,126 千円	24,014 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	信州暮らし案内人の配置	直接	三大都市圏（東京・名古屋・大阪）及び県庁に、総合的な移住相談窓口を設置し、それぞれに相談員（信州暮らし案内人）を配置 相談員の配置 4 名（東京・名古屋・大阪・県庁）			

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	ふるさと回帰支援センター連携事業		20,032 千円	21,960 千円	32,638 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ふるさと回帰支援センター連携事業	委託	地方移住の相談拠点として機能するふるさと回帰支援センターと連携し、移住希望者と県内地域とのマッチングを推進 ・東京：移住相談員3名、就職相談員1名の配置、資料ブース、相談専用スペースの設置 ・大阪：資料ブースの設置、出張相談の実施		
			相談員の配置3名、就職相談員の配置1名（東京）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業		1,993 千円	1,993 千円	1,993 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業	委託	長野県移住総合Webメディア「SuuHaa」を中心に、長野県で「暮らす」「働く」「つながる」といったライフ・ワークスタイルに関する記事コンテンツを制作するとともに、SNSを活用した情報発信を実施		
			記事コンテンツ制作数14件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	空き家利活用人材育成事業		－ 千円	4,437 千円	4,437 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	空き家利活用人材育成事業	委託	移住者の住まい確保策の一環として、地域で空き家利活用に取り組む専門人材を育成するための実践的な滞在型長期研修を実施		
			2泊3日の短期研修、3か月間の長期研修をそれぞれ1回開催		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会		3,551 千円	3,551 千円	4,651 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会	負担金	県、市町村、民間事業者が参画する協議会において、オール信州による移住等の取組を展開（移住セミナー・相談会の開催、各種フェアへの参加、移住者交流会の開催、移住者捕捉のための取組など、移住関連の事業を総合的に実施） 移住セミナー開催回数22回、移住者交流会開催4回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	県採用地域おこし協力隊による広域的移住推進体制構築事業		－ 千円	－ 千円	23,544 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県採用地域おこし協力隊による広域的移住推進体制構築事業	委託	県採用地域おこし協力隊を広域的な移住コーディネーターとして配置（4箇所） 県採用地域おこし協力隊の配置4名		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
7	ターゲットに"響く"信州移住プロモーション革新事業		－ 千円	－ 千円	3,674 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ターゲットに"響く"信州移住プロモーション革新事業	負担金	情報発信の在り方の検討や研修を行う場を設け、移住等プロモーションの革新（移住プロモーション戦略の策定）と市町村のスキルアップ研修を実施 移住等プロモーション革新会議を4回開催		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
8	信州つなぐ物語事業		－ 千円	－ 千円	4,484 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州つなぐ物語事業	委託	地域にある魅力的な「ヒト・コト・モノ」を「物語（ストーリー）」として発信することで、都市部の若者の「共感」を呼び、人と人がつながり、さらに新たな人を地域へ呼び込む仕組みづくりを実施 「物語（ストーリー）」としての記事の作成35記事		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
9	信州ワーキングホリデー事業		－ 千円	－ 千円	6,953 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州ワーキングホリデー事業	委託	県内の特色ある仕事をしながら滞在し、さらには、地域と交流する機会を設けることで、地域に溶け込んだ「仕事をしながら暮らす」ことを体感するプログラムを実施 プログラム実施地域10地域		